

(別紙2)

令和3年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和4年3月18日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：石垣市

島名：石垣島

協定対象漁業集落名：石垣市漁業集落

協定参加世帯数：299世帯(369人)

(うち漁業世帯数：224世帯(294人))

2. 協定締結の経緯

石垣市周辺海域において、乱獲や漁場環境の悪化等により魚介類の減少や魚価の低迷が続いている現状に合って、漁業者の高齢化及び減少等の課題を抱えているため、種苗放流、漁場の管理・改善等、漁場の生産力向上に関する取組と魚類養殖の安定化や担い手育成と伝統文化の継承等の漁業の再生に関する実践的な取組を実施することにより、地域漁業の活性化を図り漁業所得を向上させ、漁業世帯数及び漁業就業者数の維持と集落の漁業生産活動によって発揮される多面的機能の確保を目指して離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

ア 種苗放流

減少が著しい磯根資源の増大を図るため、ヒメジャコとヒレジャコの種苗生産に取り組み、放流用種苗の自給が可能か検討した。

イ 漁場の管理・改善

サメによる漁獲物の横取りや漁具被害等があるため、サメ駆除を実施して生産性の向上及び安全操業の確保を図ることとした。また、ナミハタ等の魚類が産卵時期に一斉に水揚げされるなど乱獲等により減少している資源の回復を目的に、八重山周辺海域6個所で全魚類を対象とする禁漁区を設け、資源の回復と漁獲量の増大を図るため資源管理の取り組みを行うこととした。また、パンフレットを作成して釣具店等に配布し、水産資源保護等の周知に努めた。

ウ 産卵場・育成場の整備

曳縄漁業による漁獲量の安定供給を図るため、パヤオを製作・設置した。またパヤオの保守点検を実施することで操業の安定化を図ることとした。

エ 漁場の監視

水産資源の保護及び密漁撲滅を図るため、漁場の監視活動を行った。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

ア 新規養殖業への着業

有性生殖によるサンゴ種苗の生産性向上を目的とした、種苗生残率のモニタリング体制及び研修等を実施した。

イ 流通体制改善

新型コロナウイルスに係る航空便の減便等の影響に対応するため鮮魚 BOX を作製し、船便での海上輸送を図った。

ウ 魚類養殖の安定化

沖縄本島から、稚魚を海上輸送するために使用する活魚タンクに使用するレギュレーターを整備した。また、養殖場の生け簀周辺に設置されたサメ侵入防止用網の補修点検を行った。

エ 海藻養殖の安定化

養殖モズク先進地の視察及び船上モズク洗浄機の試作を行い、養殖モズクの品質管理・向上を図った。

オ 担い手育成と伝統文化の継承

伝統文化であるハーリー体験や料理教室等を行い、魚食普及を図った。

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 1, 024, 494円 ※1

漁業集落漁業就業者数 272名 ※2

ア 種苗放流

ヒメジャコ・ヒレジャコの親貝を採捕し放卵・放精処置を行い、陸上水槽に放流し人工受精を図ったが放流に必要な受精卵の数に達しなかったため保護水面への放流は出来なかった。しかし漁業者自らが種苗の生産に取り組んだことにより、今後における効率的な種苗生産に資すると考えられる。

イ 漁場の管理・改善

サメ駆除を実施することにより、人的被害も無く、漁具被害の減少等安全な操業が可能となったとの意見もあるが今後も被害数の推移をみながら引き続き検証が必要である。また、禁漁区の設定等により、未成熟の個体の水揚げが減り、魚類の乱獲を防いだことでナミハタ等の産卵により資源の回復が期待でき、生産性の向上が図られたと考える。

ウ 産卵場・育成場の整備

流出したパヤオを回収し補修・点検等を行い再設置したことによりパヤオ漁を営む漁業者に寄与していると考えられる。また、パヤオ漁では令和2年1月～12月間の水揚実績（112t）から令和3年1月～12月間の水揚実績（108t）と、コロナウイルス感染症の再流行や小笠原火山噴火による軽石の漂着による被害を鑑みると、漁業全体の漁獲量が減少している中でパヤオ漁の漁獲量は微減に留まっており、効果があったと思われる。

エ 漁場の監視

密漁パトロールの実施により漁業権や漁業調整規則等の周知が図られ水産資源の保護等に効果があったと思われる。

オ 新規養殖業への着業

講師を招き海域モニタリングや陸上サンプリング、種苗の判別方法などの講習を行った事により今後のサンゴ種苗の生産力向上に繋がると考えられる。

カ 流通体制改善

鮮魚 Box を3つ整備したことにより、鮮魚 BOX の往来の期間が狭まり、鮮度保持・品質保持したままの海上輸送がより可能となり、流通経費の削減や新たな市場の開拓にも繋がる効果がある。

キ 魚類養殖の安定化

稚魚海上輸送に使用する活魚タンク用レギュレーターの整備により輸送能力が向上され、今後の生産拡大等へ資する効果があったと考えられる。また、サメ侵入防止網の補修点検を行ったことにより、サメによる養殖魚への被害を防ぐ効果が期待できる。

ク 海藻養殖の安定化

養殖モズクの先進地に視察訪問し船上モズク洗浄機の構造や効果を確認した。また船上モズク洗浄機を3基試作したことにより養殖モズクの品質管理の向上に繋がると考えられる。

ケ 担い手育成と伝統文化の継承

小学生の年間行事のひとつとして地域・学校と連携し継続することで、子供達の魚への関心を高める効果があり、後継者育成に繋がっていると考えられる。

また、地元高等学校での料理教室開催により、若年層に魚や魚を使った料理への関心を高めることができ、魚食普及を図る効果があったと考えられる。

※1及び※2の記載は必須とする。交付金交付対象漁業者所得とは、交付金交付対象世帯の1人当たりの所得を平均したもの。



種苗放流 シャコガイ種苗生産の様子



漁場の管理・改善 サメ駆除の様子



漁場の管理・改善 資源管理 ブイ作製の様子



産卵場・育成場の整備 パヤオブイ設置の様子



産卵場・育成場の整備 パヤオブイ設置の様子



漁場の監視 密漁パトロールの様子



新規養殖業への着業 サンゴ研修の様子



新規養殖業への着業 サンゴ研修の様子



流通体制改善 鮮魚BOX



魚類養殖の安定化 サメ網補修作業の様子



海藻養殖の安定化 モズク視察の様子



海藻養殖の安定化 モズク洗浄機試作の様子



担い手育成と伝統文化の継承 ハーリー体験



担い手育成と伝統文化の継承 料理教室

(注) 3 及び 4 については、主な取組について写真や数字、グラフ、図などを用いて具体的なイメージが持てるようにすることとする。